

2019年 6月 17日（月）15時00分～17時15分

筑波大学 東京キャンパス文京校舎（丸ノ内線茗荷谷駅徒歩5分）120講義室 ※参加費無料

遠隔中継：筑波大学 筑波キャンパス スチューデントプラザ2F 就職課会議室

ダイバーシティセミナーI

LGBT等の学生サポート に関する日米対話 ～学生の安全な居場所とは～

講演「米国のLGBTQ自認の学生サポートに関する枠組み（仮）」



グレン・マグパンタイ氏 全米アジア・太平洋諸島系クィア連盟(NQAPIA)事務局長

所属団体会員を対象とするリーダーシップ研修、移民の権利に関するアドボカシー、LGBT当事者の可視化、「家族の受容」キャンペーンなどのプログラムを監督する。NQAPIA事務局長に就任するまで、公民権弁護士として活躍。ブルックリン法科大学院とハンターカレッジ法科大学院で客員教授を兼任。ゲイ当事者としてのアクティビズム歴は25年近い。既婚。

講演「日本のLGBT等の学生サポートに関する枠組み（仮）」

河野禎之 筑波大学人間系（障害科学域）/DACセンター助教

筑波大学が2016年に設置したLGBT等に関する相談窓口で相談業務を担当するとともに、2017年に公表した「LGBT等に関する基本理念と対応ガイドライン」の策定に関わる等、筑波大学のLGBT等の学生サポート全般を受け持つ。臨床心理士。

パネルディスカッション グレン・マグパンタイ氏 モデレーター：河野禎之



マーシャ・アイズミ氏

トランスジェンダーの息子の母親。日系三世。母親としての罪悪感、悲しみ、日系人の文化に特有な「恥」を克服し、トランスジェンダー受容のアジア系アドボカシー活動のさきがけとなる。PFLAG（親の会）全米本部理事。著書「Two Spirits, One Heart」（ふたつの魂、一つの心）は、レズビアンとしてカミングアウトした娘のちにトランスジェンダー男性としてカミングアウトするプロセスを見守る母親としての体験記である。

越智小夏 筑波大学人文・文化学群比較文化学類4年

筑波大学の大学新聞の記者として、筑波大学のほか国内外の拠点でLGBT等に関する取材を行ってきた。2018年には筑波大学海外派遣支援事業「海外武者修行支援プログラム」にてオランダに飛び、同国の先進的な取り組み取材した。



矢部文氏（通訳）

レズビアンで既婚の娘の母親。PFLAG NYCのコミュニティーアウトリーチを担当。日本人を含むアジア系LGBTQ当事者とその家族を可視化することで、彼らの存在が当たり前と受け止められるような社会づくりを目指して活動している。アジア系（APIと省略）LGBTQ当事者の団体であるNQAPIAとのコラボレーションで、「家族の受容」キャンペーンに参加し、LGBTQ当事者と保護者向けのワークショップでゲストスピーカーを務める。福島県出身。

申込： 下記のダイバーシティのHPにある申し込みフォーム、QRコードにて

締切： 6月10日（月）※要事前予約

対象者： 筑波大学教職員および学生、関心のある一般の方（学外者の参加も歓迎します）

問い合わせ先



筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（ダイバーシティ）

TEL: 029-853-8504 FAX: 029-853-8505 E-mail: diversity@un.tsukuba.ac.jp

URL: <http://diversity.tsukuba.ac.jp> または「筑波大学 ダイバーシティ」で検索



申し込みフォームへ！